

県道410号（湘南台大神伊勢原） 〔（仮称）ツインシティ橋〕の整備計画概要

1 事業の目的と県の取組状況

ツインシティのまちづくりは、東海道新幹線新駅を誘致している寒川町倉見地区と、相模川を挟んだ平塚市大神地区とを新たな道路橋で結び、川の東西両地区が一体となった都市づくりを行うことを目的としています。

このまちづくりで重要な道路となる県道410号（湘南台大神伊勢原）の国道129号から県道46号（相模原茅ヶ崎）までの約1.7kmの区間は、「ツインシティ整備計画」において交通の骨格となる道路として位置付けられています。

本事業区間は、ツインシティ大神地区土地区画整理事業にあわせて整備を行う区間と、両地区を結ぶ橋である（仮称）ツインシティ橋の区間に分けて整備を進めており、平塚市大神地区の約0.5kmについては、平成30年度から事業に着手し、令和5年4月に暫定2車線で供用を開始しました。

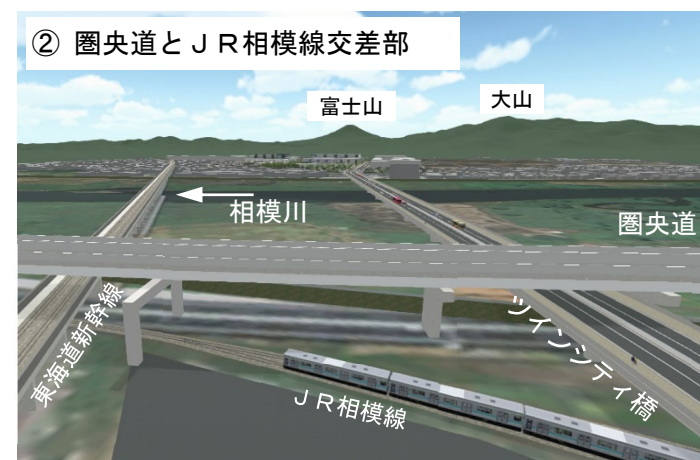
（仮称）ツインシティ橋を含む、残り約1.2kmの区間については、現在、設計や測量等を進めているところです。

県では、湘南地域における、東西方向の道路ネットワークの強化を図るとともに、広域的な交流と連携の窓口・ゲートとなる都市を目指して、地元の市町と連携して新たなまちづくりに取り組んでいます。

2 事業の概要

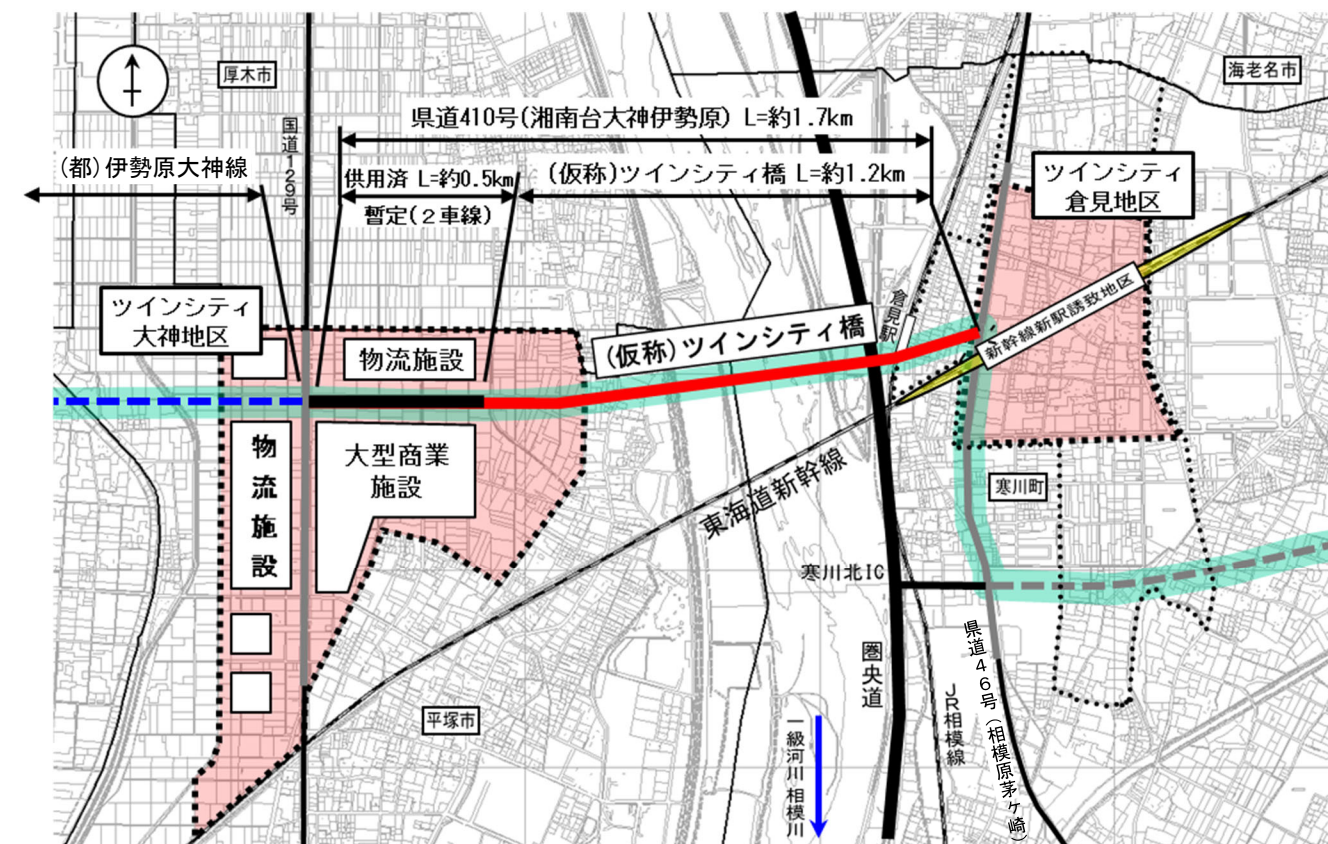
- 事業箇所：寒川町倉見 ～ 平塚市大神八丁目 地内
- 事業延長：L＝約1,700m
- 計画幅員：W＝25m（標準部） W＝26m（橋梁部）

3 完成イメージ

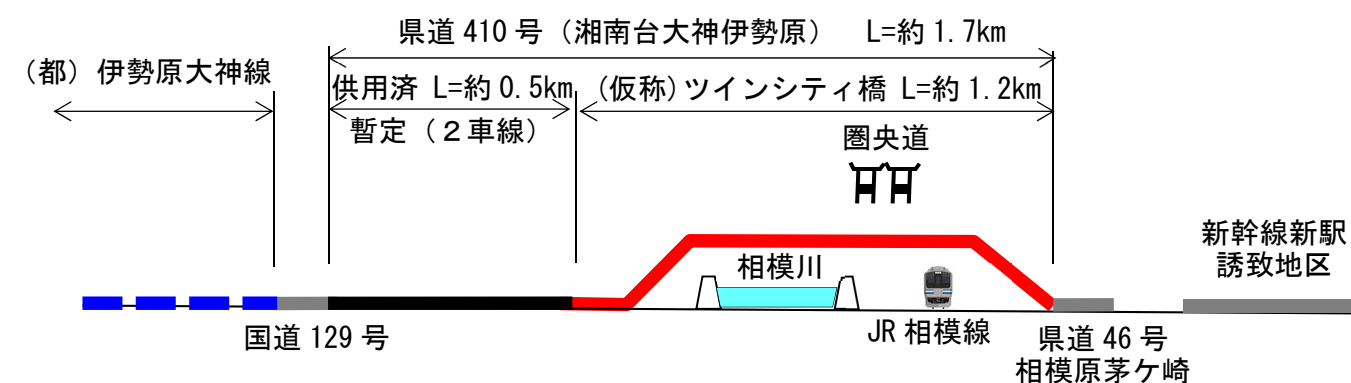


（寒川側から平塚側を望む）

4 位置図



5 縦断図



6 横断図

